

経営責任などで追及相次ぐ

よしかわ杜氏の郷損失補償問題

8/11 文教経済常任委員会

しっかりした再建計画を
上野公悦議員の報告

(株)よしかわ杜氏の郷は、9年前に旧吉川町と旧吉川農協(現JAえちご上越)、吉川商工会などが出資して創った第3セクターです。

日本酒の販路開拓が計画通りにいかないことなどから、毎年1千万円から2千万円の赤字経営に陥り、昨



株式会社よしかわ杜氏の郷

年3月と今年3月の借り入れ返済ができなくなりまし。累積赤字は現在4千万円以上に膨らみました。第9期(平成18年7月~平成19年6月)と今期第10期(平成19年7月~平成20年3月)は黒字に転じたものの返済は極めて厳しく、農林漁業金融公庫及びJAは借入残高の1億2千万円余の一括返済を求めてきました。旧吉川町から合併により上越市が損失補償を引き継いでいて、このまま返済できない場合は、来年1月末に上越市が全額返済を求められます。

そのうえで、会社役員は役割を果たしていること、杜氏の郷は健全な経営再建計画のもとにしっかりとその方向を示すべきだと論議の入り口としての基本的視点を述べました。

市側は、債権放棄を求めた責任の取り方も検討されてもよいのではないかと主張しました。また、再建計画も専門のコンサルタントを入れて作成するよう求めました。

市側は、債権放棄を求めた責任の取り方も検討されてもよいのではないかと主張しました。また、再建計画も専門のコンサルタントを入れて作成するよう求めました。

棚田の保全 担い手育成 やる気の出る農政を

日本共産党議員団

上越市農業委員の皆さんと懇談

日本共産党上越市議会議員団は、このたび初めての取り組みとして、上越市農業委員会の役員の皆さんと懇談を行いました。

当日は、農業委員会事務局から農業委員会の役割や日常の業務についての説明を受けたあと、武田勝利農業委員長から現在の上越市農業を巡る状況を含めた挨拶を受けました。その後、3月に発表された日本共産党の「農業再生プラン」の概要を橋爪議員団長が説明し、それを受けて個々の問題について懇談しました。

農業委員の皆さんの「農業再生プラン」への関心は高く、「全くその通りだ」「是非この通りに実現させてほしい」という感想が出される一方、「基本はこの通りだが、果たしてその通り

にうまくいくのか」といった疑問の声や、「いま大事なものは棚田の保全。農水省だけでなく国土保全の観点から国を挙げての取り組みに」「若手の担い手育成にさらに力を」「どんな農家でも均等に支援するのではなく、専業で取り組んでいる農家をより大切にしたい」といった意見も出されました。



各地域で介護保険市民懇談会

上越市では、来年からの3年間の介護保険事業計画の策定にあたり、市民の声を把握しようと市民懇談会を行っています。

18日の公民館三郷分館で行われた懇談会には平良木議員が参加しました。市民からは、「とにかく負担を軽くしてほしい」「子どもは旅に出ているのであてにならない。国民年金だけで入れる施設がほしい」などといった声が寄せられていました。



文教経済委員会で質問する上野議員

日本共産党上越市議員団ニュース

145号 2008年8月24日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 525-9096 (上中田)